

緑のセンターだより

No.207

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行:令和6年4月1日

講習会のご案内

(講習会の受付は前月の20日から、20日が休館日の場合は、翌日の21日から)

講習会の案内は、広報旭川市民「あさひばし」に掲載します

「ブルーベリーに魅せられて(美味しいブルーベリーの作り方を教えます~苗木は持ち帰り~)」

日時 令和6年4月7日(日) 定員20名
午後1時30分~3時30分 料金2,000円
講師 緑のセンター相談員

※講座受付日(3月20日)に定員となり受付終了

「神楽岡公園 春の自然観察会」~春の野草を探そう~

日時 令和6年5月3日(金・祝) 定員15名
午後1時30分~3時30分 料金 無料
講師 植物研究家 塩田 惇さん

※講座の受付は、4月20日(土) 午前9時~

「病害虫講座(野菜、果樹、花き、他)」

日時 令和6年5月11日(土) 定員20名
午前1時30分~3時30分 料金 無料
講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(土) 午前9時~

「ミニ盆栽講座(入門編)」

日時 令和6年5月18日(土) 定員20名
午後1時30分~3時30分 料金3,000円
講師 石花楽粹庵 森谷 隆一さん

※講座の受付は、4月20日(土) 午前9時~

「宿根草の寄せ植えを作ってみよう(旭川で越冬できる宿根草の活用と育て方)」

日時 令和6年5月19日(日) 定員20名
午後1時30分~3時30分 料金2,500円
講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(土) 午前9時~

「庭の雑草対策講座」

日時 令和6年5月25日(土) 定員20名
午後1時30分~3時30分 料金 無料
講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、5月20日(月) 午前9時~

「洋ラン(ミニカトレア)を木片で育てる講習会」

日時 令和6年5月26日(日) 定員10名
午後1時30分~3時30分 料金1,400円
講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、5月20日(月) 午前9時~

「初・中級者のための野菜づくり講座(全2回)」

日時 令和6年4月27日(土)、6月1日(土) 定員20名
午後1時30分~3時30分 料金500円
講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(土) 午前9時~

「四季成り風イチゴ栽培講習(全2回)」

日時 令和6年5月12日(日)、8月25日(日) 定員12名
午後1時30分~3時30分 料金1,300円
講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(土) 午前9時~

「コショウランの花を来年も咲かすための講座(全3回)」




日時 令和6年6月8日(土)、7月7日(日)、8月31日(土) 定員16名
午後1時30分~3時30分 料金 無料
講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、5月20日(月) 午前9時~

展示会のご案内

「野の花写真展」

日時 令和6年4月13日(土)~5月12日(日)
作品提供 神田 亘雄さん

 常磐公園花壇ボランティア募集のお知らせ 
活動期間:令和6年5月中旬から10月上旬(月1~2回、主に火・金) 午前10時から約1時間半程度の軽作業。第1回目は5月10日(金)
参加料:無料(当協会負担でボランティア保険に加入します)
申込・お問合せ:公益財団法人 旭川市公園緑地協会
 (0166)52-1934

【休館日のお知らせ】

4月~10月は、第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)



4月の園芸作業

1、鉢花・草花・球根類

- 室内の鉢花は窓ガラス越しの日差しに当てると葉焼けを起こしやすくなるので、レースのカーテンを引いて遮光します。
- **ペコニア**は樹形を整える剪定をした後、1年に1回は固まったフェルト状の根を崩して3分の1くらい切り取って植え替えしましょう。
- **シラー**や**スイセン**などの秋植え球根植物は、花後に追肥を施して、球根の肥大を促します。
- 多くの多年草は、植付け、植え替え、株分けの適期です。

2 庭木・果樹類

- **ツツジ**、**アジサイ**などの庭木の定植時期です。ツツジは酸性土壌が良く、西洋アジサイは酸性やアルカリ性で青系や赤系の花色になります。
- **リンゴ**、**ナシ**、**サクランボ**などの果樹類の定植時期です。花粉樹と合わせて定植しましょう
- 越冬害虫(ハダニ類、カイガラムシ類)や病害(りんご腐らん病、ももの縮葉病など)防除のための石灰硫黄合剤散布(7~10倍液)は、芽が開き始める前に行います。

3 観葉植物類

- 日増しに日差しが強くなり、葉焼けを起こす恐れがあります。斑入り品種などは、遮光率の高い場所に移動させましょう。

4 多肉植物・サボテン類

- 成長を始めた種類は日当たりの良い窓辺で日光に当て、水やりや液体肥料の回数を徐々に増やします。
- 植え替えが必要な株は、水やりを控えて用土を乾かしてから行います。
- **シャコバサボテン**は葉摘みを行い、株の中心に光を当てて生長を促しましょう。



5月の園芸作業

1 鉢花・草花・球根類

- **シクラメン**は黄変してきた葉を摘み取り、徐々に水やり回数を減らして乾かし気味にします。黄変しない場合は通常の水やりをします。
- **アザレア**などの鉢花は曇りの日か雨の日に、外気に馴らしてから屋外に出しましょう。
- **ポインセチア**など植え替えや、さし芽が可能となります。下葉が落ちてしまった株や草丈を低く仕立てる株は切戻し行いましょう。
- **ダリア**、**カンナ**は地温が10℃以上になり、降霜に気を付けて5月下旬以降に定植しましょう。

2 庭木・果樹類

- 苗木の植付けや移植は早めに行います。
- **ツツジ**などの花木は花後に剪定し、化成肥料を施します。
- **リンゴ**、**ナシ**、**サクランボ**などが花を咲かせます。確実に結実させるための人工受粉、果実を大きく育てるための摘果、袋掛け幹や枝の支柱への誘引などが、重要な作業になります。
- 乾燥に弱い**ブルーベリー**などの果樹では庭植えでも乾き具合を見て水やりをします。

3 観葉植物類

- 新芽が動くまでは鉢土をやや乾かし気味に管理しますが、新葉の展開を確認したら、表土が乾いたらすぐにたっぷり水を与える水やりに移行し、施肥をします。
- 戸外に出す時は、葉焼けを防ぐため曇りの日か雨の日に、外気に馴らしてから屋外に出しましょう。

4 多肉植物・サボテン類

- 多くの種類で植え替えや株分け、葉ざし、さし芽が行えます。
- 生長期となりますので水と肥料を与えましょう。日中は晩霜に注意して少しずつ馴らしながら屋外管理に移行しましょう。

〈我が家の庭づくり〉 早春編 旭川で越冬する宿根草

1. 植物の耐寒温度を知りその地域で育つ種類の物を取り入れる。
2. 旭川の花屋さん・造園屋さん・ホームセンターで販売されていても越冬できるとは限りません！

- ・生産地がどこなのか？信頼のおける生産者・販売元から購入する。
(庭に越冬した見本が植えてある・旭川より寒い所で栽培された物)
- ・旭川市内の庭で越冬している物と同じ種類の物を求める。
- ・旭川市内でも街中と郊外では、かなりの気温差があるので要注意！
(例、早朝の気温が旭川气象台-20℃、永山の旭川農業高校-26℃)

① 宿根草の表示はあるが要注意

- ・ペンステモン、ガウラ、エキナセア、アガパンサス、アガスターシャ、クニフォフィア、スカビオサ、ストケシア、ハニーサックル、ロベリアスペシオサ

② 品種によっては耐寒性が劣るものがある

- ・エキナセア、スカビオサ、アガパンサス、ホリホックダブル、**ルドベキア**

③ 宿根草には 2 年草(2 年で枯れる)も含まれるので要注意

- ・ルナリア、カンパニュラ、アイスランドポピー、ジギタリス

④ ハーティネスゾーンを知ろう

- * 植物がどれくらいの寒さまで耐えられるかの指標で、**Z3 から Z8** までのゾーンナンバーで区分される(旭川は Z5・札幌は Z6b・朝日は Z3)



(我が家のイングリッシュガーデン)



(越冬可)

(越冬不可)

ゾーン ナンバー	最低気温	該当都市 (多雪地域)	該当都市 (少雪地域)
Z3	-40℃~-34.4℃	朝日など	
Z4	-34.3℃~-28.9℃	士別、名寄、占冠など	陸別など
Z5	-28.8℃~-23.3℃	旭川、北見、東良野、 倶知安、岩見沢など	帯広、穂別、釧路 中標津など
Z6a	-23.2℃~-20.6℃	月形、恵庭、羽幌、 網走、小樽、厚真など	釧路、白糠、紋別、 湧別など
Z6b	-20.5℃~-17.8℃	札幌、余市、留萌、 真狩、稚内、羅臼など	三石、広尾、釧川、 礼文など
Z7a	-17.7℃~-15.0℃	函館、増毛など	苫小牧、湧別、網走など
Z7b	-14.9℃~-12.2℃	岩内、利尻など	南芽室など
Z8	-12.1℃~-8.7℃		室蘭、札幌、江差、 えりも岬など

図4 北海道各地のハーティネスゾーン

植物の病害虫 その78 トマト の トマトキバガ

発生状況: 侵入警戒有害動植物の一種であるトマトキバガの飛来が全道各地で確認されました。道内における本種の初確認は、令和5年6月に道南農業試験場(北斗市)のばれいしょほ場において捕獲された成虫です。8月下旬には、渡島地方の施設栽培トマトにおいて葉や果実に穿孔侵入した食害痕が発生し、本種による被害が確認されました。

被害: トマトでは、茎葉の内部に幼虫が潜り込んで食害し、孔道が形成されます。葉の食害部分は表面のみ残して薄皮上になり、白~褐変した外観となります。果実では、幼虫による食害で果実表面に数mm程度の穿孔痕が生じるとともに腐敗を生じ、果実品質が著しく低下します。

寄主範囲: トマト、ピーマン、ばれいしょ等のナス科植物が主要な寄生植物であるほか、マメ科のいんげんまめも寄生植物として確認されています。

防除方法: ①ほ場を良く見回り、見つけ次第捕殺します。②発生を拡大させないため、薬剤散布(薬剤抵抗性を防ぐため系統の異なる薬剤のローテーション散布)を行うとともに、被害葉や被害果実は速やかに土中深く埋設するか、ビニル袋に入れて死滅させます。

幼虫



写真 トマトキバガによるトマトの被害(道南農試 原図)



春一番 プリムラを楽しむ

プリムラには多くの種類(改良種を含むと500種以上)がありますが、本来は北半級の温帯地方に自生する宿根草です。

夏の暑さには弱いものの、開花期間が長く、カラフルな花色が多いことから、栽培上では寄せ植えていろんなアレンジを楽しむ、春一番の草花として人気があります。

上手に夏越しすれば毎年、開花を楽しむことができます。

1、旭川で栽培可能なプリムラの主な種類

○ポリアンサ、ジュリアン・・・上記のように花色も豊富で開花期間が長い。購入した開花株は楽しんでから一回り大きな鉢に植え替えて鉢で楽しむか、低温性で丈夫なことから春になってから花壇に植え込んで翌春の花壇(宿根草)を楽しむこともできます。大株になると株分けして増やすこともできます。

○マラコイデス・・・鉢植え向き。一年草。5月に種を播いて、秋から冬に花を楽しむことができます。

○オブコニカ・・・鉢植え向き。草丈20~40cmほど。プリムラの中でも大きな花(4~6cm)を咲かせて華やかですが、茎葉に「プリミン」という毒素を持つため素手で触れるとカブれるので注意が必要です。

2、栽培ポイントの七か条

- ① 明るい日差しを好むので、よく陽のあたるところを選びましょう。
- ② 生育適温は昼15~20℃、夜間10℃前後と比較的涼しい場所が良い。
- ③ 水を欲しがるので花に水がかからないようにして十分に与え、受け皿の水を捨てます。
- ④ 肥料は10日に一回くらい1,000倍の液肥を与えます。
- ⑤ 花柄や黄化した葉の放置は病気の原因。特にポリアンサ、ジュリアンの花柄は花茎の付け根から切りとるのが良いでしょう。
- ⑥ 購入した鉢は一定期間が過ぎると鉢底から根が出てきます。植え替えのサインです。一回り大きなサイズの鉢に植え替えて栽培を楽しみます。
- ⑦ 植え付け用土は中性(pH7前後)を好みます。

展示室の植物 (113)

フィカス・リラータ (別名: カシワバゴムノキ)

学名: *Ficus lyrata* クワ科 イチジク属

ゴムの木の仲間は800種類以上あると言われていますが、「フィカス・リラータ」もゴムの木の一種です。

波打つような葉は厚く、存在感があります。柏餅にも使われる柏の葉に似ていることから、和名でカシワバゴムノキと呼ばれています。学名も「フィカス」はイチジク属、「リラータ」はリラという古代ギリシアの「竪琴」の形に葉の形が似ていることに由来する、といわれるほど特徴的です。

カシワバゴムノキの花言葉は「永久の幸せ」です。

結婚祝いや新築祝いなど、大切な方への送り物として使われることが多い観葉植物の一つですが、枯れにくく生命力が強いことも、このような前向きな花言葉を充てられたのかもしれない。

